

大仙市内 25の保育施設 **主食の無償提供始まる**



大仙市は今年1日から、市内の保育施設25施設でご飯など主食の無償提供を始めた。今回の取り組みによって、同市では0歳児から中学生まで一貫して給食費が無償化された。

市子育て支援課によると、これまで3～5歳児は副食(おかず)のみ提供して

いた。主食は多くの施設で各家庭から持参していたほか、主食を提供していた一部施設では保護者から主食費を徴収していた。

市では主食を持参する保護者の経済的・日常的な負担軽減、衛生管理面での安全安心な給食提供などを目的に無償提供を決定。関連予算が市議会6月定例会で可決された。0～2歳児は2024年度から給食費を含む保育料が全て無償となっており、各施設で主食と副食を既に提供している。小学校と中学校の給食費も無償となっている。

2日は大曲中央こども園(同市大曲花園町)で、5歳児32人の給食の様子が報道陣に公開された。この日は大仙市産の新米あきたこまちが豚汁やハンバーグ、野菜ソテーなどとともに提供された。園児は「あったかいね」「園のご飯おいしい」と言いながら味わい、ご飯をお代わりする姿も見られた。

同園の佐藤良子園長は「温かいご飯を提供できるので、子どもたちはこれまで以上に食が進むようだ。保護者からも歓迎する声が寄せられている」と話した。(三浦ちひろ) (令和8年10月12日(月) 秋田魁新聞より一部抜粋)